

令和6年度入学生対応

別表1 小学校教諭一種免許状取得希望者が履修すべき授業科目及び単位数

1 教科及び教職に関する科目 次表の授業科目のうちから、所要の単位を修得するものとする。

	施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	開設科目			履修方法	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項		左に対応する開設授業科目	単位数			
					必修	選択		
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	初等国語教育通論		2※	選択科目※から6単位以上、選択科目○から6単位以上それぞれ修得	
				初等社会科教育通論		2※		
				初等算数教育通論		2※		
				初等理科教育通論		2※		
				初等生活科教育通論		2○		
				初等音楽教育通論		2○		
				初等図画工作教育通論		2○		
				初等家庭科教育通論		2○		
				初等体育教育通論		2○		
				初等英語教育通論		2※		
	(情報各通信技術の活用を含む)	各教科の指導法の活用を		国語(書写を含む。)	2			
				社会科指導法	2			
				算数科指導法	2			
				理科指導法	2			
				生活科指導法	2			
				音楽科指導法	2			
				図画工作科指導法	2			
				家庭科指導法	2			
				体育科指導法	2			
				外国語(英語科)指導法	2			
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育原理	2			
				教職原論	2			
				教育社会学	2			
				教育心理学	2			
				特別なニーズ教育の基礎と方法	2			
				教育課程論(初等教育)	2			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	10	道徳教育指導法	2			
				総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	2			
				教育方法・技術論	1			
				教育とICT活用	1			
				児童生徒指導論	2			
				児童教育相談の基礎	2			
				キャリア教育指導論	2			
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	5	小学校教育実習Ⅰ	4			
				小学校教育実習Ⅱ		2		
				小学校教育実習事前事後指導	1			
				教職実践演習(初等教育)	2			
第6欄	大学が独自に設定する科目		2	介護等体験実習	1			
				障害のある子どものICT活用 接続期の保育と教育		2 1		
合計			59	合計(40科目)		52	25	履修指定 64単位

備考1 履修指定単位数64単位には、選択科目のうち必修単位数12単位を含む。

2 第6欄「大学が独自に設定する科目」の必修科目に、選択科目又は最低修得単位を超えて履修した第2欄から第5欄の科目の単位と併せて1単位以上を修得するものとする。

別表2 特別支援学校教諭一種免許状取得希望者が履修すべき授業科目及び単位数

別表1に定める小学校教諭一種免許状取得希望者が履修すべき授業科目及び単位数のほか、次表の授業科目のうちから、所要の単位を修得するものとする。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数	開設科目			履修方法		
		左に対応する開設授業科目	単位数				
			必修	選択			
第1欄 特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論 特別支援教育の歴史	2	2			
第2欄 特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目	知的障害の子どもの心理・生理・病理 肢体不自由の子どもの心理・生理・病理 病弱の子どもの心理・生理・病理	2 2 2		選択科目から4単位以上修得	
		心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育課程論・指導法 知的障害教育実践法 肢体不自由教育課程論・指導法 肢体不自由教育実践法 病弱教育課程論・指導法 病弱教育実践法 特別支援教育の授業実践	2 2 2 2	2 2 2 2		
第3欄 免許状に定められることになる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害のある子どもの教育課程・授業論		2		
		心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目	視覚・聴覚障害教育総論 重複障害・言語障害教育総論 LD・ADHD等教育総論 自閉症・情緒障害教育総論	2 2 2 2			
		心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目					
第4欄 心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導	2 1				
合計	26	合計(19科目)	25	12	履修指定 29単位		

備考1 特別支援教育の領域を知的障害者・肢体不自由者・病弱者とし、この領域の免許状とする。

- 履修指定単位数29単位には、選択科目のうちの必修単位数4単位を含む。
- 第3欄『視覚・聴覚障害教育総論』，『重複障害・言語障害教育総論』，『LD・ADHD等教育総論』及び『自閉症・情緒障害教育総論』の授業内容には、「心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理」及び「心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法」の内容を含む。

別表3 幼稚園教諭一種免許状取得希望者が履修すべき授業科目及び単位数

1 教科及び教職に関する科目 次表の授業科目のうちから、所要の単位を修得するものとする。

	施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数	開設科目			履修方法
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項		左に対応する開設授業科目	単位数		
					必修	選択	
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項 (情報機器内容及び教材の指導法の活用を含む。)	健康	子どもと健康	1		
			人間関係	子どもと人間関係	1		
環境	子どもと環境	1					
言葉	子どもと言葉	1					
表現	子どもと表現	1					
(複合領域)	表現の領域と指導法	2					
	健康と環境	2					
	言葉と人間関係	2					
16	保育内容総論	1					
	保育内容(健康)の指導法Ⅰ	1					
	保育内容(健康)の指導法Ⅱ	1					
	保育内容(人間関係)の指導法Ⅰ	1					
	保育内容(人間関係)の指導法Ⅱ	1					
	保育内容(環境)の指導法Ⅰ	1					
	保育内容(環境)の指導法Ⅱ	1					
	保育内容(言葉)の指導法Ⅰ	1					
	保育内容(言葉)の指導法Ⅱ	1					
	保育内容(表現)の指導法	1					
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育原理	2			
			保育者・教師論	2			
			教育社会学	2			
			発達心理学 保育の心理学	2 2			
			特別なニーズ教育の基礎と方法	2			
			教育課程論(幼児教育)	2			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法・技術論 教育とICT活用	1 1			
			幼児理解と教育相談	2			
			4				
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	幼稚園教育実習Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅱ 幼稚園教育実習事前事後指導	4 1 1	2		
			2				
第6欄	大学が独自に設定する科目		幼児教育総論 インクルーシブ保育Ⅰ 子ども家庭福祉 接続期の保育と教育	2 1 2	1	履修指定 51単位	
合計		51	合計(36科目)	51	3		

備考1 第4欄『幼児理解と教育相談』の授業内容には、「幼児理解の理論及び方法」及び「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」の内容を含む。

2 第6欄「大学が独自に設定する科目」の必修科目に、選択科目又は最低修得単位を超えて履修した第2欄から第5欄の科目の単位と併せて9単位以上を修得するものとする。